

さいたま市防災カルテ

桜山中学校区

①学区の概況と課題

◆学区の概要

【位置】岩槻区の北部に位置している。
 【土地利用】学区内には住宅地が広がっており、中央部に団地がある。西部に元荒川が流れる。
 【交通】学区の西部に県道65号が走っている。

◆学区の位置



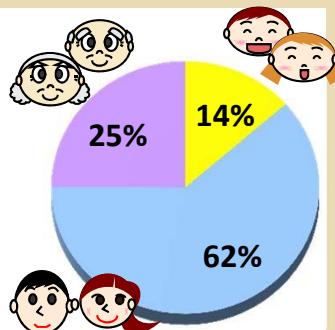
◆学区内被害想定結果

地震	さいたま市直下地震	関東平野北西縁断層帯地震	東京湾北部地震			
最大震度	6強 (6.0)	6強 (6.1)	5強 (5.4)			
最小震度	6弱 (5.5)	6弱 (5.6)	5弱 (4.9)			
死者	1人 (0.0%)	1人 (0.0%)	0人 (0.0%)			
負傷者	20人 (0.2%)	25人 (0.3%)	1人 (0.0%)			
避難者	783人 (8.4%)	809人 (8.7%)	40人 (0.4%)			
全壊建物棟数	19棟 (0.9%)	29棟 (1.3%)	0棟 (0.0%)			
うち焼失棟数	1棟 (0.0%)	2棟 (0.1%)	0棟 (0.0%)			
半壊建物棟数	172棟 (7.8%)	207棟 (9.4%)	8棟 (0.4%)			
水害	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等
床上浸水建物棟数	197棟	68棟	0棟	0棟	10棟	0棟
床下浸水建物棟数	439棟	535棟	0棟	0棟	47棟	0棟

※震度のカッコ内は計測震度を、それ以外のカッコ内は学区内の比率を示す。

◆人口概況 (平成22年国勢調査)

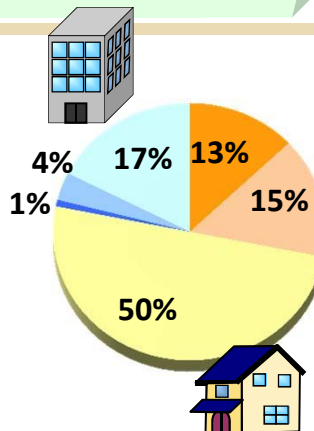
	桜山中学校区	全市平均
総人口	9,350人	
人口等		
0-14歳	1,263人 (14%)	(14%)
15-64歳	5,754人 (62%)	(67%)
65歳以上	2,333人 (25%)	(19%)
人口密度	5,880人/km ²	5,766人/km ²



- 【地震】関東平野北西縁断層帯地震の震度が最も大きくなっているが、他の地域と比べ、相対的にはどの地震の場合でも**被害率は低い**。
- 【水害】荒川、利根川が氾濫した場合、**地区の25%以上が浸水被害**を受ける。

◆建物概況 (平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

	桜山中学校区	全市平均
総建物棟数	2,195棟	
建物		
木造(昭和46年以前)	283棟 (13%)	(17%)
木造(昭和47-55年)	335棟 (15%)	(12%)
木造(昭和56年以後)	1,098棟 (50%)	(45%)
非木造(昭和46年以前)	18棟 (1%)	(1%)
非木造(昭和47-55年)	77棟 (4%)	(3%)
非木造(昭和56年以後)	384棟 (17%)	(21%)



◆防災関連施設情報 (平成26年2月時点)

種別	名称
避難場所	桜山中学校、東岩槻小学校
一時・広域避難場所	岩槻諏訪公園
市・区役所等窓口	
消防署・出張所	
警察署・交番	
救急病院	
応急給水場所	岩槻諏訪公園

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

- 【水害】水害の危険性が高い地区となっており、迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による**安全な避難体制の構築が必要**。
- 【避難】高齢者層が多く、地域で協力した**避難行動・救助活動が必要**。

● 全市平均と比較すると、**65歳以上の高齢者層が多い**。

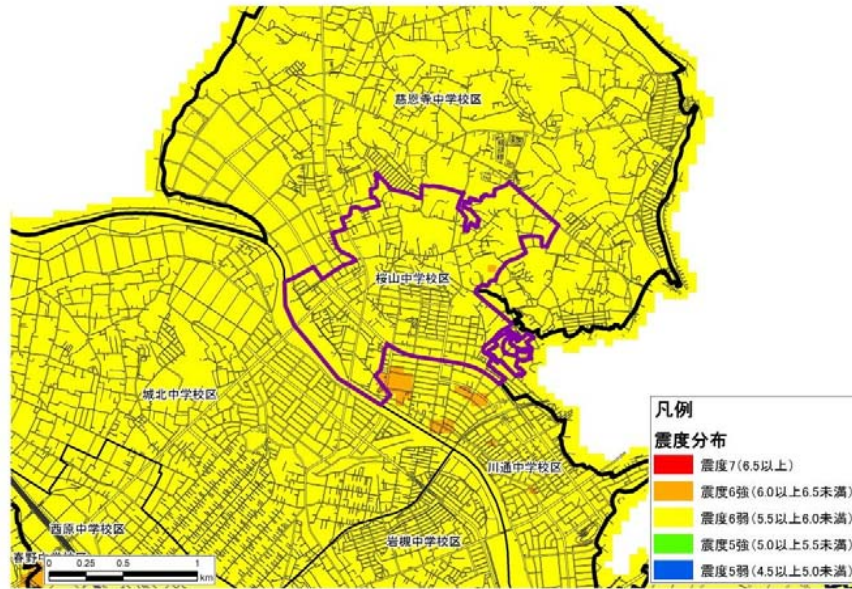
● 建物の割合は全市平均とほぼ同等である。

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

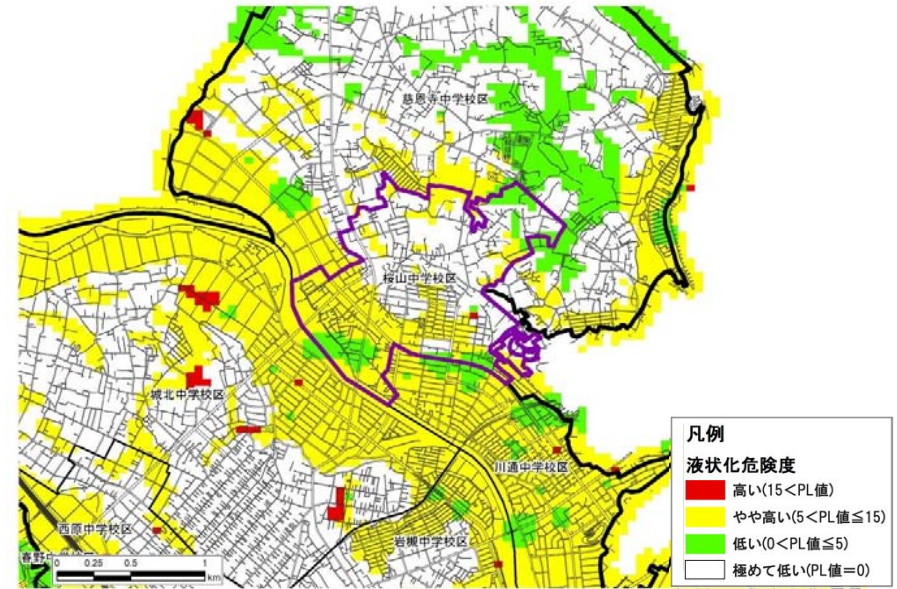
②さいたま市直下地震の想定 **さいたま市防災カルテ**

桜山中学校区

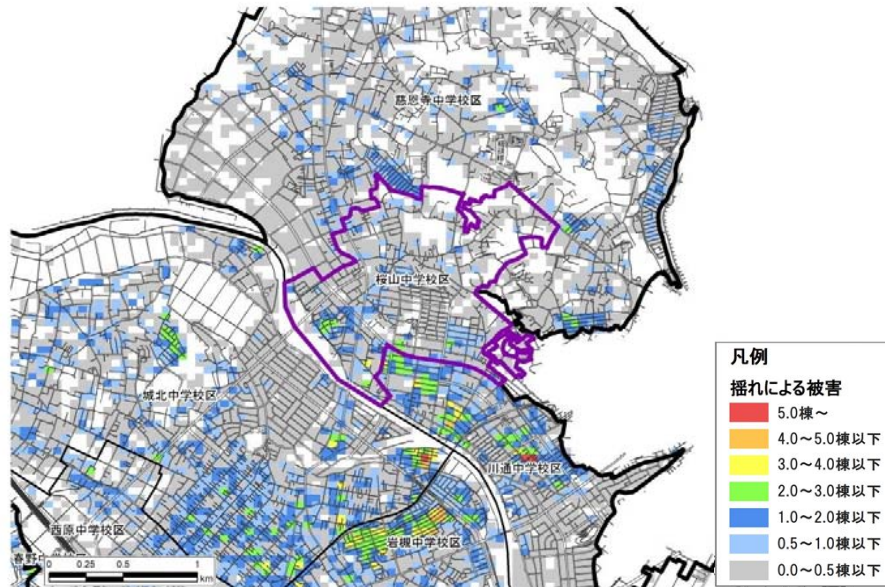
震度分布図



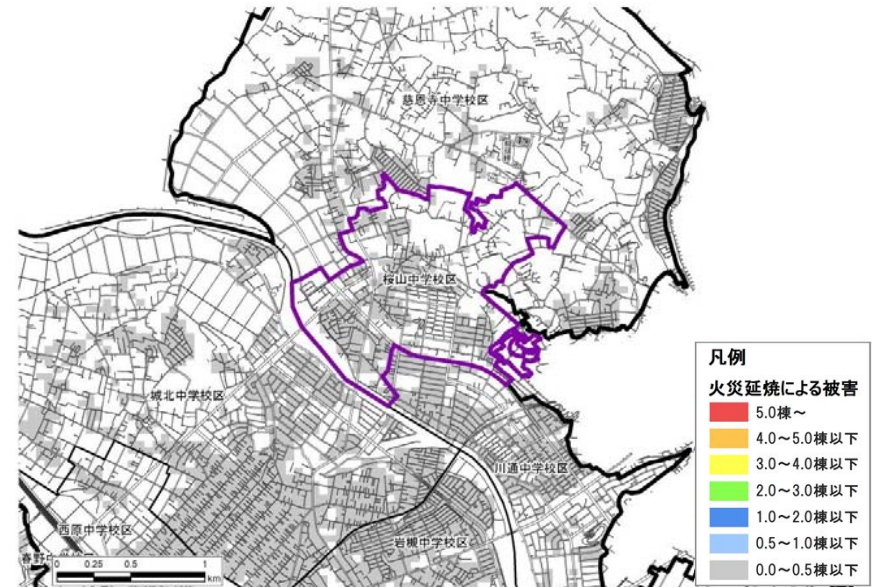
液状化危険度分布図



建物被害分布図（揺れによる被害）



建物被害分布図（火災延焼による被害）

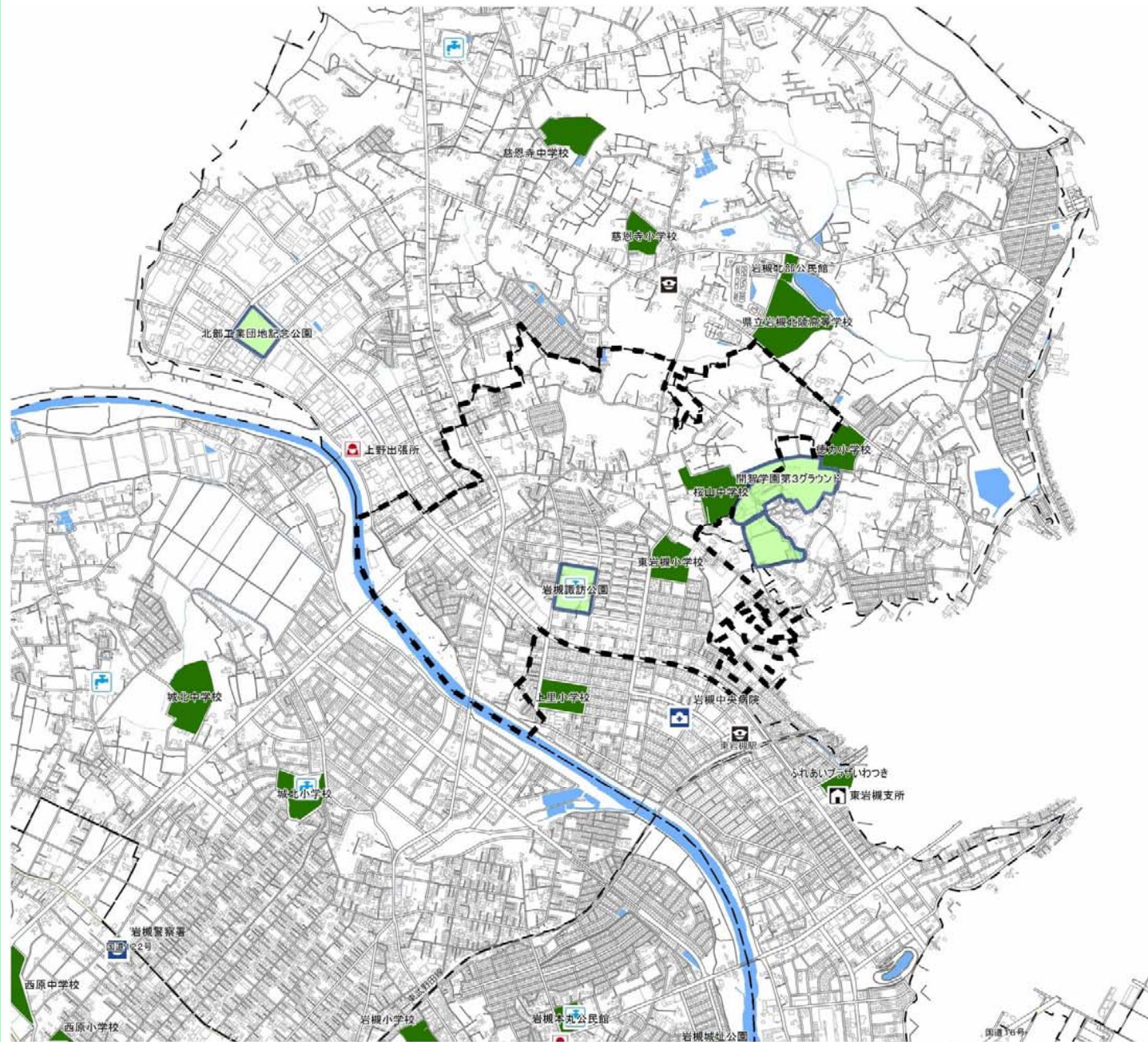


本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

③防災マップ

さいたま市防災カルテ

桜山中学校区



凡例			
	避難場所		消防署
	一時避難場所		消防署(出張所)
	広域避難場所		警察署
	市役所		交番・駐在所
	区役所		救急病院
	支所・市民の窓口		応急給水場所

(平成26年2月時点の情報で作成)

メモ欄

